



## PRESS RELEASE

2016年 9 月 28日

各 位

会 社 名 株式会社A W S ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 青木 正之  
(コード番号：3937 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理本部長 石津 直幸  
(TEL.03-5803-7339)

**当社グループの戦略的ドメインである「医療」+「分析」の領域にて  
ソリューション事業拡大に向けた取り組みが進みました**

～ 医療情報システム開発を担当する当社子会社「株式会社エーアイエス」が手掛ける  
医療システム『Mighty』シリーズ導入数が 12,000 ユーザーを突破 ～

株式会社AWSホールディングス（本社：東京都文京区、代表取締役社長：青木 正之、証券コード：3937）は、主に3Aと定義するAnalytics（分析）、Automation（自動化）、AI（人工知能）の領域を技術面における戦略的ドメイン（※）として、事業拡大に取り込んでまいりましたが、この度、Analytics（分析）の領域の中核の1つを担う、当社子会社、株式会社エーアイエス（代表取締役社長：荻原 裕之）が開発・販売する医療機関向けのレセプト点検ソフトウェア『Mighty』シリーズの導入数が、2016年8月末で12,000ユーザーを突破しました。

※ 事業展開領域のこと。当社グループは、技術の側面における戦略的ドメインを 3A（Analytics（分析）、Automation（自動化）、AI（人工知能））、業界面における戦略的ドメインを、既存の製造業およびサービス業に加え、金融、医療、そして自動車・ロボット分野と定義

当該ユーザー数は、2016年3月末時点集計時（※※）に比して15.3%の増加となり、これらは主にクリニックを中心とした市場において、レセプト点検および「分析」の有効性が顕在化してきたことの表れといえます。

※※ 2016年3月末ユーザー数10,769医療機関

今後は、ユーザー数の加速度的な伸長を背景に、レセプト点検ソフトでレセプトデータにアクセスできる有利なポジションをより磐石なものにすると同時に、AIの活用を視野に入れた「医療ビッグデータ分析」を取り入れるなど、当社が定義する上記3Aの先端テクノロジーを組み合わせることにより、より付加価値の高い戦略的なソリューションを医療領域にて展開、医療の質と効率性を向上させるとともに、日本の医療の進化に寄与してまいります。



以上